



## FIAクロスカントリーラリー ワールドカップ第2戦でレーストゥアレグのサビーが2位入賞 - ドライバーズポイントでワールドカップシリーズトップをキープ -

ウォルフスブルグ、2005年4月11日

フォルクスワーゲン レース トゥアレグ プロトタイプは、2005年 FIA クロスカントリーラリー ワールドカップ第2戦 チュニジア ラリーにおいて、通算5度目となる表彰台上りました。2004年ダカール ラリーで実戦投入されたレース トゥアレグは、フォルクスワーゲン ワークスドライバーのブルーノ サビー(仏)/ミシェル ペラン(仏)組により2位でフィニッシュ。初戦での優勝に続き、今回の2位でワールドカップ首位の座をキープしています。女性ワークスコンビ、ユタ クラインシュミット(独)/ファブリツィア ポンズ(伊)組は、4位で完走。ワールドカップ総合ランキングをひとつ上げ、第2戦終了時点で3位につけました。

フォルクスワーゲンは、レース トゥアレグの5気筒 TDI エンジンに、新テクノロジーであるツインターボを初めて装着しました。ドライバーのクラインシュミットとサビーは、ドライバビリティの向上を高く評価し、特に低速域での効果がめざましく、さらにレスポンスも向上したと指摘しています。

### クリス ニッセン(フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター)

「フォルクスワーゲンのモータースポーツ史において、クロスカントリーイベントのリーダーに立つのは初めてですが、目標はタイトルの獲得ではありません。イベントを厳選し、新たな技術を実戦でテストし、過酷な環境でドライバーに経験を積ませるために参戦しています。今後数週間内に2回のテストを実施し、特にサスペンションの熟成を進め、キャメルグラスやラフなグラベルといった、クロスカントリー特有のコンディションに適応させる予定です。」

### #203:ブルーノ サビー、総合2位

「2位の結果もポイント差の拡大も、どちらも嬉しいです。今回は、路面に岩や砂が多く、本当にハードでした。ユタ クラインシュミットだけでなく、意図的にライバルの後ろを走行して、マシンを比較してみました。エンジンはツインターボを採用し効率がアップしているが、サスペンションは更に進化する可能性を感じました。」

### #201:ユタ クラインシュミット、総合4位

「ブルーノがレース トゥアレグに5度目の表彰台をもたらしたことを嬉しく思います。自分も学ぶことが多く、実りの多いイベントでした。チュニジアのコンディション(キャメルグラスと大量の砂)はダカールに似ており、ライバルとの相対的な位置関係がよりハッキリとわかりました。自分のドライビング スタイルを新エンジンの特性に合わせることもでき、最終レグはそれまでよりも速いペースで走れました。」

第2戦 チュニジア ラリー結果、2005年4月3日~11日

順位	チーム	車両	合計タイム
1.	リュック アルファン/ジル ピカール	三菱 パジェロエボリューション	19時間 00分 55秒
2.	ブルーノ サビー/ミシェル ペラン	フォルクスワーゲン レーストゥアレグ	+ 11分 40秒
3.	増岡浩/パスカル メモン	三菱 パジェロエボリューション	+ 12分 55秒
4.	ユタ クラインシュミット/ファブリツィア ポンズ	フォルクスワーゲン レーストゥアレグ	+ 23分 37秒
ドライバーズ ポイント (暫定)			
1位	ブルーノ サビー	26ポイント	
2位	リュック アルファン	15ポイント	
3位	ユタ クラインシュミット	12ポイント	

最新のフォルクスワーゲン モータースポーツの情報は[www.volkswagen-motorsport.net](http://www.volkswagen-motorsport.net) (英)にてご覧頂けます。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 広報部

製品広報 安達 tel. 03-5575-7382、相澤 tel. 03-5575-7394 [vw-pr@vqi.co.jp](mailto:vw-pr@vqi.co.jp)

<http://www.volkswagen-press.jp> (プレス専用サイト:未登録の方は下記登録用アドレスからご登録ください)

[http://www.volkswagen-press.jp/new\\_registration/](http://www.volkswagen-press.jp/new_registration/)

お客様お問い合わせ先 フォルクスワーゲン カスタマーセンター tel. 0070-800-551133